

広沢小だより 11月臨時号



令和4年11月
京都市立広沢小学校
校長 小林 五月

学校評価アンケート結果のご報告

7月に「学校評価アンケート」を実施しました。児童は学習用コンピュータを活用して回答しました。保護者の皆様には、例年通りアンケート用紙を配付し、実施しました。回答率95.5%と、たくさんの貴重なご意見をいただくことができました。成果と課題、さらに学校運営協議会の皆様よりいただいたご意見をあわせてご報告させていただきます。

「確かな学力」の育成に向けて		そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
①学校は楽しいですか。	児童	69.5%	21.8%	6.3%	2.3%
	保護者	48.3%	45.1%	6.4%	0.3%
②すすんで学習にとりくんでいますか。	児童	64.4%	29.3%	4.9%	1.4%
	保護者	25.7%	48.6%	23.4%	2.3%
③テストやプリントの直しを、きちんとやりぬいていますか。	児童	77.9%	16.7%	4.0%	1.4%
	保護者	23.4%	42.2%	26.0%	8.4%
④学習予定表を見て、学習の準備をしていますか。	児童	80.2%	14.9%	1.7%	3.2%
	保護者	38.2%	46.2%	13.0%	2.6%
⑤学校の勉強はよくわかりますか。	児童	70.1%	23.9%	4.3%	1.7%
	保護者	22.8%	60.7%	14.5%	2.0%
⑥自分の思いや考えを進んでノート等に書いていますか。	児童	67.2%	24.7%	5.5%	2.6%
	保護者	26.6%	47.4%	21.4%	4.6%
⑦自分の考えをしっかりと話していますか。	児童	58.9%	26.1%	10.6%	4.3%
	保護者	25.7%	49.7%	21.4%	3.2%
⑧先生や友達の話をしっかりと聞いていますか。	児童	78.4%	18.7%	2.3%	0.6%
	保護者	28.6%	57.2%	12.7%	1.4%
⑨学習用コンピュータは学習に役立っていますか。	児童	76.4%	18.7%	3.7%	1.1%
	保護者	33.2%	49.7%	15.3%	1.7%
⑩進んで読書をしていますか。	児童	64.9%	21.6%	9.5%	4.0%
	保護者	28.0%	28.0%	31.5%	12.4%
⑪進んで宿題にとりくんでいますか。	児童	73.9%	19.3%	4.6%	2.3%
	保護者	28.0%	39.9%	27.5%	4.6%
⑫自主学習に進んでとりくんでいますか。	児童	68.4%	19.5%	6.6%	5.5%
	保護者	18.5%	34.4%	37.3%	9.8%

②③⑥⑦学力の定着を図り、進んで学習に取り組もうとする子の育成をめざします。

本校では、「自ら進んで力いっぱい学習する子」をめざして「楽しくわかる授業づくり」に取り組んでいますが、すべての児童に進んで学習に取り組もうとする姿勢をつけることはできていないようです。

進んで学習に取り組むには、まず児童が「分かった」「できた」という達成感を味わわなくてはいけないのではないかと考えます。広沢小では、基礎学力をつけるために必要な取組を充実させることを大切にしています。

例えば、昼休み・掃除の後の帯時間を「学びタイム」として、基礎・基本的な学習の定着をめざした学習を行っています。その中でも毎週水曜日は「課題の日」として、「算数の文章題」「読み解力をつけるための課題」「書く力をつけるための課題」に全校で統一して取り組んでいます。また、毎週火曜日の放課後を「パワーアップタイム」として、個別学習・指導等を行っています。



さらに、楽しくわかりやすい授業を教職員で目指していきたいと思います。本校では、「自ら進んで自分の思いや考えを伝え合い、学びを深め合う子」という研究主題を設定し、教職員も学びを止めることなく「楽しくわかる授業づくり」に取り組んでいます。その成果として、自分の思いや考えをノートに書いたり、進んで話そうしたりして、学び合うことを楽しんでいる児童が増えてきています。

しかし、その児童のがんばりが保護者の皆さんに伝わっていないのか、家庭では様子が違うのか、児童と保護者の捉えに差が大きいことが分かりました。学校だより・学級だより・ホームページ等で児童の様子を発信したり、参観に来ていただく機会を大切にしたり、普段からがんばっている様子を伝えたりする等、連携を密にしていきたいと思います。そして、保護者の皆さんにも家庭で学力をつけるための励ましや支援をお願いしていきたいと思います。



⑨GIGA 端末を活用して、学びが深まる学習をめざします。

今年度も1日1回 GIGA 端末を使うことを目標に、日々の健康観察を送信したり、学習の中で活用したりして、GIGA 端末を使うことに慣れてきました。しかし、今回のアンケート結果を見ると、GIGA 端末が学習に役立っているととらえている児童・保護者が減っています。GIGA 端末が導入され、いろいろな使い方をすることで学習方法が広がっています。しかし、まだそれは始まったばかりで、これからさらに教職員で学習への有効的な活用について研鑽を積まなければならぬと考えています。そして、GIGA 端末を使った学習のよさが保護者にも伝わるように授業参観で見ていただき、様子をお便り等で発信したりしていきたいと考えています。



⑩学校図書館の充実をめざし、読書に親しむ子の育成をめざします。

国語科や総合的な学習の時間に図書を活用した学習を大切にしたり、10月には読書週間を設け、選書会や委員会、にこにこなかよしグループでの読み聞かせに取り組んだり、昨年度末にはPTAの余剰金で児童が読みたい本を学級文庫に購入してもらったりしました。その成果として、読書を楽しんでいる子が増えているように思います。



また、本校の学校図書館の蔵書が増えて本棚から本があふれています。学校図書館で学習をすると密が避けられなったりする状況がありました。そのような状況を改善するために、この夏休みに教職員で、学校図書館改造に取り組みました。コンピュータ室を「第2学校図書館」として使えるようにし、たくさんの蔵書を分けることで、ゆったりと本を見るようになりました。2学期になり、これまで以上に、たくさんの児童が休み時間に学校図書館に行き、本に親しむ様子が見られています。さらに読書が好きな児童が増えるのではないかと期待しています。

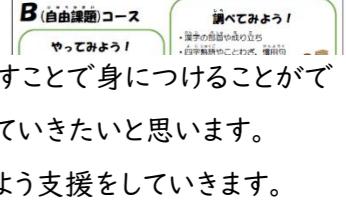
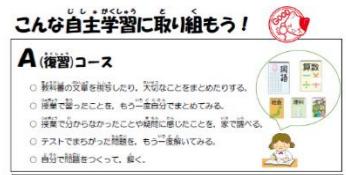


しかし、残念ながら、学校では読書が好きな児童も、家では本を読まないということがあるようです。家では、本以外に楽しめるものがたくさんあったり、習い事等で読書をする時間ががないということもあったりするようです。家でも読書をする時間を作れるように家庭と連携していきたいと考えています。

⑫自主学習で、自分で課題を見つけ、自分で学習していく力をつけます。

本校では、取組についての約束を決めて、自主学習に取り組んでいます。1年生から取組を積み重ね、自分の苦手なことを克服するために復習をしたり、関心があることに取り組んだり、調べてみたりして、自分で学習する力をつけます。基礎・基本的な力は、毎日繰り返すことで身につけることができます。また、自ら学ぶことの面白さや楽しさを経験し、「学び方」や「ものの考え方」を育てていきたいと思います。

これからも、よい取組をしている児童のノートを紹介する等、全員が意欲的に取り組めるよう支援をしていきます。



「豊かな心」の育成に向けて		そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
		児童	保護者	児童	保護者
①約束やルールを守って行動できていますか。	児童	66.1%	28.4%	4.6%	0.9%
	保護者	36.1%	56.9%	6.4%	0.6%
②やさしくていねいな言葉をつかっていますか。	児童	59.5%	32.5%	5.5%	2.6%
	保護者	26.3%	58.4%	15.0%	0.3%
③自分から気持ちのよいあいさつをしていますか。	児童	63.5%	25.9%	6.6%	4.0%
	保護者	23.7%	46.0%	26.3%	4.0%
④むずかしいことでもがんばって挑戦していますか。	児童	77.0%	17.5%	3.7%	1.7%
	保護者	17.3%	47.1%	32.1%	3.5%

③「そう思う」という児童の回答が増えている。保護者の回答では、前回は「そう思う」「だいたいそう思う」という回答が少し増えていたが、今回はまた減ってしまった。

④児童では、「そう思う」という回答が増えているが、保護者は減っている。

③いつでも、だれにでもあいさつができる子をめざしていきます。

アンケート結果で、「そう思う」と自信をもって「あいさつをしている」と回答をしている児童が増えています。実際に学校で、登下校時や、給食を返却する時等に、自分からあいさつをする児童が増えたように思います。給食の返却に給食室に来た時、進んで調理員さんに「おいしかったです」とあいさつをしている姿が見られます。また、廊下で会釈をしてあいさつをする高学年の児童もいます。そのような姿を全校児童に紹介することで、これから進んであいさつをする児童を増やしていきたいと思います。



④レジリエンス(何事にもしなやかで折れない心)の育成をめざします。

学校教育目標を「夢に向かって、笑顔で取り組む広沢の子～何事にもしなやかで折れない心(レジリエンス)の育成～」としていますが、この3年間、学校行事の縮小や友達との交流や遊びの制限、放課後の補習等の中止等、児童が苦手なことやうまくいかないことを何度も繰り返しがんばる場面が少なくなっていたように思います。でも、今年度はようやく様々な制限が少なくなり、児童ががんばる場面を作ることができるようになりました。例えば、休み時間には、一輪車や竹馬を粘り強く練習し、友達と教え合い、支え合い、できるようになるまでがんばる姿が見られます。放課後には、間違ったところや分からなかったところを担任と個別に学習する姿があります。

しかし、児童を見ていると、自分が思うようにうまくいくことや、嫌なことがあった時には逃げてしまったり、諦めたりしてしまう場合があるように感じます。学校運営協議会では、「難しいこと」でも諦めずにがんばるために、「～のようになりたい」「～は面白い」などとあこがれや興味をもつことが大切ではないかという意見が出ました。本を読んだり、いろいろな人に出会ったりするなど、あこがれや興味・関心をもつきっかけとなるような経験をたくさんしていけるよう意識して取り組んでいきたいと思います。そして、児童が粘り強くがんばることができる場を大切にし、達成感や成就感を味わえるように、今後も支援を続けていきたいと思います。

「健やかな体」の育成に向けて		そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
		児童	保護者	児童	保護者
①いじめ・なかまはずれしないように、気をつけていますか。	児童	82.8%	14.7%	0.6%	2.0%
	保護者	50.0%	48.6%	1.2%	0.3%
②ゲーム・テレビの時間を決め、早寝・早起きをし、時間を考えて生活していますか。	児童	56.3%	28.2%	8.3%	7.2%
	保護者	18.2%	42.5%	30.9%	8.4%
③進んで外遊びをしていますか。	児童	70.1%	16.7%	9.2%	4.0%
	保護者	31.2%	41.9%	21.4%	5.5%
④好ききらいなく食事をしていますか。	児童	69.3%	18.7%	7.8%	4.3%
	保護者	28.6%	39.9%	24.6%	6.9%
⑤「つま先立ち」をがんばっていますか。 (つま先立ちや足型測定等の「足育」は、お子さんの健やかな生活につながっていますか。)	児童	83.3%	14.1%	1.4%	1.1%
	保護者	30.6%	54.3%	14.2%	0.9%
⑥感染症対策(マスク・手洗い・3密をさけるなど)をしていますか。	児童	68.1%	26.4%	3.2%	2.3%
	保護者	52.6%	45.4%	1.7%	0.3%

②「そう思う」という児童の回答が増えている。しかし、「そう思わない」という児童の回答も増えている。

③「そう思う」「だいたいそう思う」という回答が増えている。

④「好ききらいなく食事をしている」と答える児童が増えているが、保護者では「あまりそう思わない」という回答が増えている。

②③④外遊び・食事・生活リズムを整えることの大切さをさらに伝えていきます。

本校では毎月「すこやか週間」を設定し、健康的な生活について考える機会をもってきました。健康的な生活のためには、運動することの大切さ、特に外で遊ぶことの大切さを伝えてきました。「給食だより」を使った学習や、栄養教諭の「食の指導」で、栄養バランスを意識した食事の大切さも学習しています。また、昨年度より毎月16日を本校で「ノーメディアデー」と定め、アンケート等を実施して自分の生活を振り返る機会をもってきました。その成果がアンケートにあらわれているのではないかと思います。

しかし、残念ながら、学校での取組が生かされず、遅くまでゲームをしたり、動画視聴をしたりする児童がいることが分かりました。メディアに関するアンケートの結果を見ると、トラブルが起こったり、学校で学習に集中できなかったりする現状が明らかになってきました。また、生活習慣が乱れて学校で体調不調を訴える児童もいます。家庭とも連携を図りながら、今後も規則正しい生活リズムや睡眠の大切さについての学習を続け、児童が健康な生活について考える機会をもてるようにしていきたいと考えています。どうかご協力をお願いします。

②④⑤⑥昨年度と比べると、「あまりそう思わない」「そう思わない」という回答が増えている。

③昨年度と比べ、回答にあまり変化は見られない。



その他		そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
		児童	保護者	児童	保護者
①学校だよりや学級だより、ホームページで学校の様子がよくわかると思われますか。	児童	74.1%	19.8%	3.2%	2.9%
	保護者	28.9%	61.3%	9.0%	0.9%
②学校は地域の特色や人材を生かした取組を行っていますか。	保護者	23.1%	57.5%	17.9%	1.4%
	児童	28.3%	51.4%	19.1%	1.2%
③夢や希望をもって活動できていますか。	児童	74.7%	15.2%	5.5%	4.6%
	保護者	17.9%	51.4%	27.5%	3.2%
④京都嵯峨学園の名称を、保護者や地域の方は知っていますか。	保護者	17.1%	49.1%	30.6%	3.2%
	児童	16.5%	53.8%	25.7%	4.0%
⑤京都嵯峨学園の教育活動について、情報提供ができますか。	保護者	17.1%	49.1%	30.6%	3.2%
	児童	17.1%	49.1%	30.6%	3.2%
⑥京都嵯峨学園で連携した教育活動が取り組めていますか。	保護者	16.5%	53.8%	25.7%	4.0%
	児童	17.1%	49.1%	30.6%	3.2%

②④⑤⑥京都嵯峨学園(4小1中)・地域と連携して教育活動に取り組みます。

今年度は、地域の特色や人材を生かした取組や京都嵯峨学園(嵯峨中・嵯峨小・嵐山小・広沢小4校)での取組が少しずつできるようになりました。地域で行われた防災訓練に4年生が参加したり、広沢地域の方を招いて地域のことや仕事について教えていただけたりしました。京都嵯峨学園としても、今年度は3年生が他の小学校と学校の紹介をオンラインで交流したり、4校の生徒会・児童会が学校をよくするためにどんな取組ができるかを話し合ったりしました。教職員も、今年度は、4校の教職員が集合して、グループで教育活動について研修をしたり、4校の授業を参観して授業研修を行ったりしました。しかし、そのことを十分に情報発信できていなかったようで、回答には反映されていない結果でした。今後、地域や京都嵯峨学園のこれまでの取組を継続するだけでなく、ICT活用をして新たな取組ができるか模索していきたいと思います。そして、ホームページや学校だより、京都嵯峨学園だより等で情報発信に努めています。



③夢や希望がもてる取組・学習を行います。

学校運営協議会より、「夢や希望をもつためには、いろいろな本を読んだり、いろいろな人からお話を聞いたり、いろいろな体験をする機会を作ったりすることがきっかけとなるのではないか」という意見をいただきました。そのことからも、地域の方や小・中学校と連携をしていろいろな活動や、校外学習やゲストティーチャーをお招きしての学習などを積極的に取り入れていきます。そして、本校の学校教育目標「夢に向かって、笑顔で取り組む広沢の子」の実現に向けて学校教育活動を行っていきたいと思います。